



じもと

HOLDINGS

じもとホールディングス ミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

2014
9月期

特集

本業支援戦略部新設

ーチーム「じもと」で、お客さまへスピードある高度な対応を実践ー

本業支援戦略部発足式



JIMOTO HOLDINGS
MINI DISCLOSURE '14 INTERIM REPORT



つなぐ、つながる。

「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに
進化・発展する新たな金融グループの創設」
それが基本理念です。

Profile

じもとホールディングス

設立年月日 平成24年10月1日
本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-722-0011(代表)

資本金 170億円
上場取引所 東京証券取引所
ホームページ <http://www.jimoto-hd.co.jp/>

きらやか銀行

本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号 023-631-0001(代表)
設立年月日 平成19年5月7日
資本金 227億円
預金・譲渡性預金 13,398億円
貸出金 9,649億円
従業員数 985人
店舗数 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)

(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗
統合による実質店舗数は78カ店(うち出張所3カ店)
(県内62カ店、県外16カ店)、インターネット支店を除く。

ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>

仙台銀行

本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-225-8241(代表)
設立年月日 昭和26年5月25日
資本金 224億85百万円
預金・譲渡性預金 11,091億円
貸出金 5,908億円
従業員数 727人
店舗数 72カ店(注)

(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式
での店舗統合による実質店舗数は61カ店
(うち出張所4カ店)。

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>

(平成26年9月30日現在)

Contents

●会社概要	巻頭
●TOP MESSAGE	01
●本業支援戦略部新設	02
●じもとホールディングス 本業支援とは	04

●本業支援への取組み	
きらやか銀行の本業支援	06
仙台銀行の本業支援	07
じもとグループ両行で行う 本業支援	08

●業績ハイライト	
じもとホールディングス	09
きらやか銀行	10
仙台銀行	12
●株主の皆様へ	14



株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

じもとホールディングスが誕生して2年が経過しました。「宮城・山形をつなぐ」というじもとグループの特徴を更に発揮するため、今年10月、じもとホールディングスに「本業支援戦略部」を新設しました。宮城・山形両地域のお客さまへスピードを持った提案を行い、本業支援のさらなるレベルアップを図ってまいります。

「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに進化・発展する新たな金融グループを創設する」という経営理念のもと、今後もじもとグループ役職員が一丸となって宮城と山形を結び、「人・情報・産業」をつないで地域社会に貢献してまいります。

HUMAN PROFILE

鈴木 隆 (TAKASHI SUZUKI)

- 株式会社 じもとホールディングス会長
- 株式会社 仙台銀行頭取
- 最近読んで感銘を受けた本：
 - ・「生き方」 稲盛和夫 著
- 感銘を受けた映画：
 - ・「蜩ノ記」 小泉堯史 監督・脚本



株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学

組織というのは、半年ごと、1年ごと進化をしていかなければならないというのが私の考えです。このような考えから今年の10月、じもとホールディングス内に「本業支援戦略部」を設置しました。ホールディングスに両行のお客さまのニーズを集約し、両行全役職員で対応する、全国で初めてのケースです。

私たちの先にいるのはお客さまです。お客さまに喜んでいただくために、お客さまにどのような本業支援を提供できるのかを念頭におき、じもとホールディングス差別化戦略の最先端のものにしたいと考えております。私どもは本業支援でお客さまを、そして山形・宮城の経済交流をつないでまいります。

HUMAN PROFILE

栗野 学 (MANABU AWANO)

- 株式会社 じもとホールディングス社長
- 株式会社 きらやか銀行頭取
- 最近読んで感銘を受けた本：
 - ・「嫌われる勇氣」 岸見一郎／古賀史健 著
- 感銘を受けた映画：
 - ・「永遠の0」 山崎貴 監督・林民夫 脚本



本業支援戦略部 新設

「本業支援」をNo.1、かつ、Only1へ!!

じもとホールディングスは、「本業支援」をグループ統一行動指針として掲げ、「お客さまに喜ばれ、信頼される銀行」を目指して取組んでおります。

平成26年10月より、「本業支援」の更なる強化、高度化、迅速化を目的として、じもとホールディングス内に「本業支援戦略部」を新設いたしました。

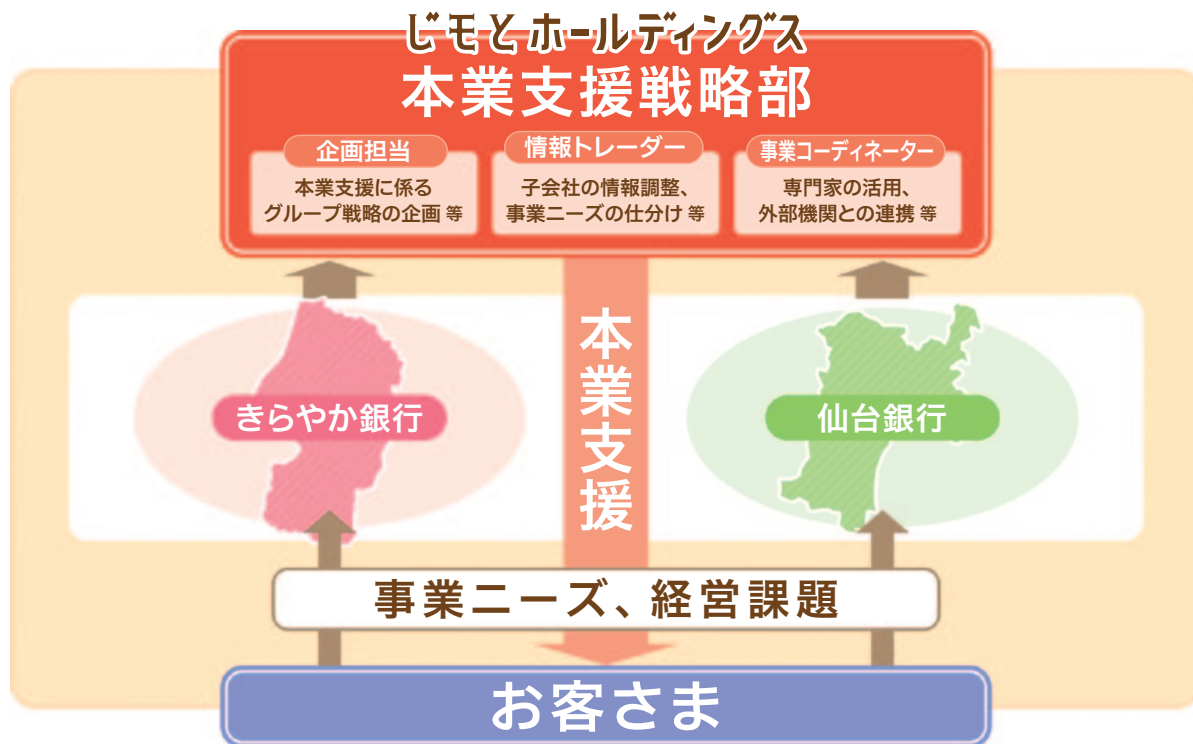
これにより、今まで以上にスピーディーかつ高度な対応を行うことができる体制となりました。

①スピーディーな対応

今まで各子銀行の本業支援担当部署が営業店からの情報を集約し、相手行に情報を繋いでおりました。ホールディングス内に担当部署を統一することで、営業店からの情報を一元的に管理し、お客さまの事業ニーズに対しこれまで以上にスピーディーな対応を行ってまいります。

②高度な本業支援

公認会計士や、工学博士、不動産鑑定士等の専門家や高度なスキルを持ったスペシャリストも在籍しており、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。



じもとホールディングスの「本業支援」

じもとグループでは、「本業支援」として、両行間の協調融資・紹介融資やビジネスマッチングに積極的に取組んでおります。

平成25年度以降の協調融資・紹介融資の実績は、収益物件の購入資金など38件・109億円となっております。

また、ビジネスマッチングの実績は、お客さま同士の取引が成約した件数が44件、顧客間の交渉件数が211件となっております。

協調融資・紹介融資の実績

(単位:件、百万円)

		25年度 上期	25年度 下期	25年度 合計	26年度 上期	累計
協調融資	件数	9	8	17	5	22
	金額	3,677	5,446	9,123	995	10,118
紹介融資	件数	6	6	12	4	16
	金額	517	134	651	143	794
合計	件数	15	14	29	9	38
	金額	4,194	5,580	9,774	1,138	10,912

ビジネスマッチングの実績

(単位:件)

	25年度 上期	25年度 下期	25年度 合計	26年度 上期	累計
成約件数	7	23	30	14	44
顧客間交渉件数	22	61	83	128	211
合計	29	84	113	142	255

じもとホールディングスの 本業支援とは…

Menu 1 復興支援

じもとホールディングスは、被災地域の金融グループとして「じもと復興戦略」を掲げ、震災復興支援に取り組んでおります。

「東日本大震災事業者再生支援機構」への案件持込みや「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」の活用、被災企業への協調融資の実施、被災地への支援拠点の整備、移動店舗での営業等を行い、東日本大震災で被災されたお客さまの復興を支援しております。



移動店舗『仙台銀行どこでも窓口』

Menu 2 事業承継、M & A

会社を円滑に次世代に引き継ぐためにはどうしたらよいのだろうか

後継者がいないが事業や雇用は守りたい

事業承継を
私たちと
考えましょう！

多くの経営者の方は会社を次の世代に円滑に引き継ぎたいという想いをお持ちではないでしょうか。じもとホールディングスは、後継者不在による事業承継問題や後継者育成への支援等を行い、経営者の方の想いを次世代に残すサポートを行っております。



Menu3 経営支援

じもとホールディングスは、お客さまの経営支援を行っております。

県中小企業再生支援協議会を活用したお客さまの経営改善計画策定の支援や、両行の事業再生ノウハウを共有したDDS（デット・デット・スワップ）の実施、子会社を活用した事業再生支援を通じて、お客さまへの経営支援を積極的に行い、地域経済の発展と雇用の維持に寄与しております。

※DDS（デット・デット・スワップ）とは…金融機関などの債権者が債務者の借入金を劣後ローンなど他の債務より返済の優先順位が劣る借入金に借り替える手法。

一緒に経営改善計画を立てて
みましょう！



Menu4 内部管理

経費削減をしたいが何から手をつけたらよいのか分からない

原価管理をさらに強化したい

じもとホールディングスの「本業支援戦略部」には、公認会計士や不動産鑑定士をはじめ、生産管理等の専門的ノウハウを持った工学博士等の専門家も在籍しております。

これらのスペシャリストがお客さまのニーズに対してより専門的かつ高度な対応を行っております。

スペシャリストにお任せ
ください！！



Menu5 ビジネスマッチング

売上高を何とか伸ばしたい

新しい顧客を探しているが、なかなか上手いこない

じもとホールディングスは、お客さまから寄せられた事業ニーズ（商品売りしたい・買いたい、人材が不足している）を「本業支援戦略部」に集約しマッチングすることで、新たなビジネス機会を創出し、お客さまの事業ニーズにスピーディーに対応しております。



平成26年7月「食」の商談会inみやぎ

お客さまの喜びが自分の喜びに

私にとって本業支援は「具体的に何をすればいいのか」というところからのスタートでした。銀行がお客さまにできるサービスを考えた時に、型にはまったものでは喜んで頂けない。それであれば、喜んで頂く事をしていこうと考えました。

私は本業支援を行うにあたって、お客さまの会社の従業員になったつもりで支援・提案する事を意識しています。それを実践することで、お客さまの喜びが自分の喜びになることを実感しております。

当行の本業支援は、販路の拡大や事業継続の悩み、財務の改善等多岐に渡ってサービスを提供できます。今後もお客さまから喜んで頂く事を目指して本業支援に取り組んでまいります。



きらやか横丁にて



プロフィール

きらやか銀行 流通センター支店

岩井 健一郎 主任

法人兼個人渉外担当

趣味はスノーボードとラーメン屋巡り！山形はおいしいラーメン屋がたくさんあり、地区によってもいろいろな味を楽しめます。



取組み事例

株式会社志鎌園様は県内でも有数の老舗お茶メーカーとして事業を行っております。地元顧客がメインですが、もっと多くの方に同社のお茶を味わって頂きたいとの考えから、当行が積極的に商談会参加を提案し、結果多くのお客さまと取引を開始されました。



株式会社 志鎌園
代表取締役
志鎌 秀人 様

VOICE 喜びの声

弊社は地元山形に根づいて100年以上も地域の皆様にご愛顧頂き共に歩んでまいりました。今の山形にはまさに「地産地消」の考えが必要であり、弊社も地元山形の企業としてこの考えを持って事業を展開して参りたいと考えております。

その中できらやか銀行は、弊社への支援はもとより地元企業に対して想いを持って支援や課題解決に取り組んで頂いております。担当の岩井さんは、身近な存在として弊社の考えや理念を十分理解して頂き、今までの銀行対応とは違った観点から積極的に支援、提案をして頂いている良きパートナーです。

今後も積極的な支援を頂き、弊社及び山形県内企業発展の力となって頂きたいと考えております。

新事業展開を本業支援で全面サポート

株式会社フレッシュおの様は、東日本大震災からの復興、東北の農業発展や地元生産者の活性化のため、次世代スーパーコールドチェーン並びに衛生管理システムを備えた工場建設を計画しました。

計画を進めていく中で、当行では計画達成の一助となるよう、地元企業応援部と連携し、行内のネットワークをフル活用し、情報提供などの本業支援に取り組みました。

本業支援で様々な提案を行うことができたのは、同社と何でも情報交換ができる信頼関係を構築していたことが大きかったと考えております。

今年新工場が完成し、同社の新たな事業展開がいよいよ本格化します。今後、様々な課題が出てくると思いますが、当行は本業支援を通じて、同社の経営発展をサポートし、より強い信頼関係を築いていきたいと考えております。



プロフィール

仙台銀行 原町支店
佐藤 勤一郎 次長
渉外担当

趣味はドライブ。行きたい場所を当日に家族会議で決めて、各地を巡っています。



取組み事例

仙台市宮城野区で野菜卸売業を行っている株式会社フレッシュおの様は、カット野菜の需要が増加したことから、新工場建設を計画。当行は、土地取得や工場建設資金に関する相談対応をはじめ、ISO取得支援、工場建設業者の紹介、商品販売先の紹介など、当社新事業展開の様々な課題に対して、営業店が関連部署と連携し、全行を挙げて本業支援を行いました。



株式会社 フレッシュおの
代表取締役
小野 一夫 様

VOICE 喜びの声

弊社は、「消費者と生産者を結ぶ橋渡し役として、日本農業を守り、おいしく栄養価の高い野菜をより多くの消費者に届ける」を経営理念として業務にあたっております。この度の新工場建設により、新鮮な野菜をより安全に消費者の皆様へ供給することを目指しています。

工場建設用地の相談をしてから工場完成まで約4年にわたり、仙台銀行には様々な提案をしていただき、大変お世話になりました。特に、工場建設に際し、仙台銀行から関連業者の紹介をいただいたことで、スムーズに計画を進めることができました。

これからも、仙台銀行には「最も親身になってくれる銀行」として、弊社の経営課題の解決に協力いただきたいと思います。

じもとグループ全体でお客さまをサポート

両行での取組み事例

きらやか銀行と仙台銀行では両行のお客さまの課題やニーズを聴き（アクティブリスニング）、ビジネスマッチングでつなぐ、という本業支援を展開しています。

仙台銀行のお取引先で水産物卸業者の株式会社カネキ水産様は、国産加工用ワサビが不足しているという情報を得て、ホタテなどの水産物とワサビとの関連性に着目。今後のビジネス拡大につなげられないかと考え、仙台銀行へワサビ栽培業者がいないか相談いただきました。

仙台銀行は、きらやか銀行にワサビ栽培業者の紹介を依頼。きらやか銀行はワサビの安定した販路拡大を課題としていた大富農産有限会社様を紹介し、両社の取引が始まりました。

きらやか銀行取引先



大富農産 有限会社（山形県東根市）
代表取締役 櫻井 清晴 様

VOICE 喜びの声

弊社製品のワサビは、市場出荷の割合が高く市況に左右されやすいため、安定した販路の確保が長年の課題でした。

きらやか銀行には、弊社経営へのアドバイスとともに取引先を紹介いただいたことで安定した販路を確保することができ、事業の幅を広げることができました。

今後も地元金融機関として、弊社や地域経済発展のため、情報提供や取引先の紹介など様々な協力をしていただきたいと思います。

仙台銀行取引先



株式会社 カネキ水産（宮城県石巻市）
代表取締役 佐藤 喜慶 様
専務取締役 佐藤 慶浩 様

VOICE 喜びの声

志津川支店には、弊社からの依頼にいち早く対応してもらい、弊社独自では得ることのできない情報を提供していただいたことで、取引を始めることができました。

銀行からの紹介ということもあり、お互いに信頼して取引を行うことができ、新たなビジネスチャンスにつなげることができました。

今後も、本業支援というじもとグループ独自の方法で様々なサポートを続けていただきたいと思います。

ビジネスマッチング

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	25年9月期	26年9月期	前年同期比	増減率
経常収益	21,130	21,242	112	0.5
経常利益	3,197	3,441	243	7.6
中間純利益	3,153	3,450	296	9.4

平成26年9月期の連結業績は、経常収益が212億42百万円、経常利益が34億41百万円、中間純利益は34億50百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

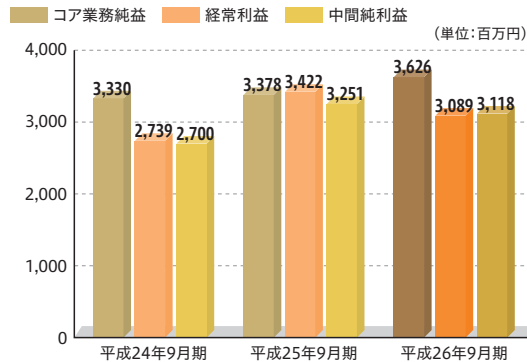
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	25年9月期	26年9月期	前年同期比	増減率
経常収益	21,073	20,772	△300	△1.4
業務粗利益	16,366	16,061	△304	△1.8
経費 (除く臨時処理分)	13,077	12,751	△326	△2.4
業務純益	3,494	3,521	26	0.7
コア業務純益	3,378	3,626	247	7.3
経常利益	3,422	3,089	△333	△9.7
中間純利益	3,251	3,118	△133	△4.0
貸出金	1,477,267	1,555,787	78,519	5.3
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,307,231	2,448,932	141,701	6.1
有価証券	716,987	790,054	73,067	10.1

2行合算の経常収益は、前年同期比3億円減少の207億72百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、物件費の減少等により、前年同期比2億47百万円増加の36億26百万円となりました。

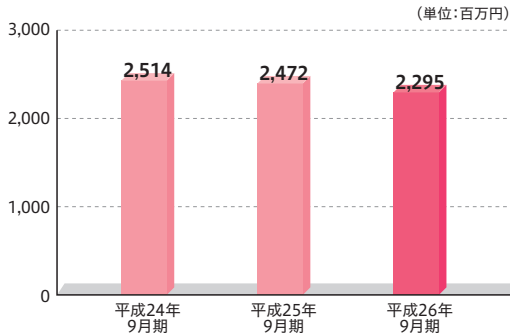
経常利益は、前年同期比3億33百万円減少の30億89百万円、中間純利益は前年同期比1億33百万円減少の31億18百万円となりました。



業績ハイライト(単体)

コア業務純益の状況

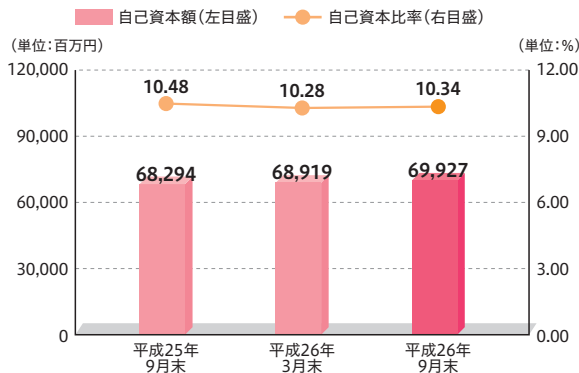
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費削減に努めたことで物件費は減少したものの、資金利益の減少や税金の増加などにより、前年同期比1億76百万円減少の22億95百万円(増減率△7.1%)となりました。



自己資本比率の状況

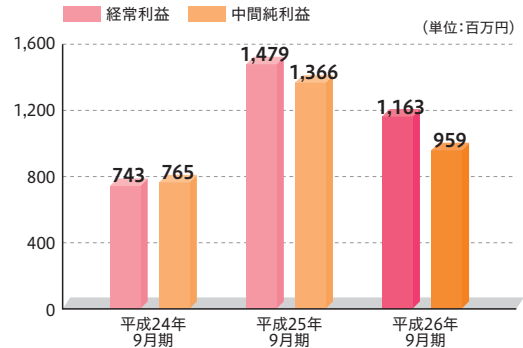
単体自己資本比率は、10.34%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(パーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



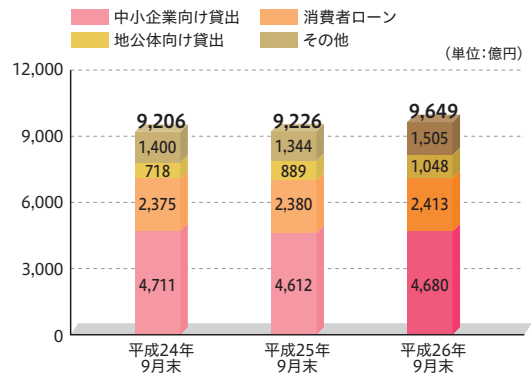
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比3億15百万円減少の11億63百万円、中間純利益は前年同期比4億7百万円減少の9億59百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出、住宅ローン貸出を中心とした消費者ローンや地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成25年9月末比422億24百万円増加の9,649億13百万円となりました。

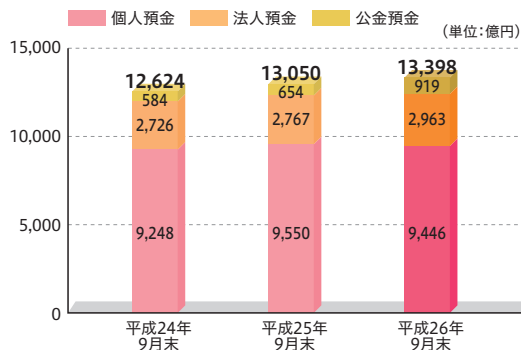


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

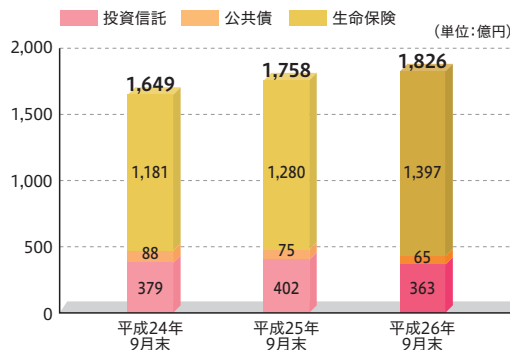
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が減少したものの、法人預金及び公金預金が増加したことから、平成25年9月末比347億95百万円増加の1兆3,398億3百万円となりました。



預かり資産の状況

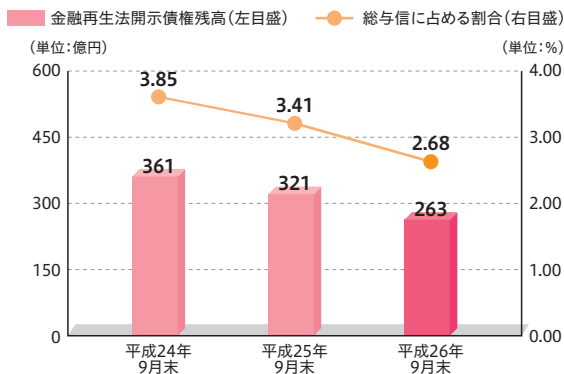
預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成25年9月末比67億円86百万円増加の1,826億74百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成25年9月末比58億5百万円減少の263億72百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成25年9月末比0.73ポイント低下の2.68%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



当行は、平成23年2月、取引先企業再生支援のためのコンサルティング機能の発揮及び強化を目指し、完全子会社となるきらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社を設立、平成24年5月、当行が所管する貸出債権125億59百万円を会社分割により承継いたしました。

平成26年9月末現在における同社との連結開示債権残高は、266億94百万円で、開示債権比率は2.71%となります。

なお、同社は、平成24年3月、日本政策投資銀行と資本及び業務提携に関する協定書を締結し、企業再生支援機能を強化するとともに人材の育成を図ることによって地域経済の活性化を目指しております。

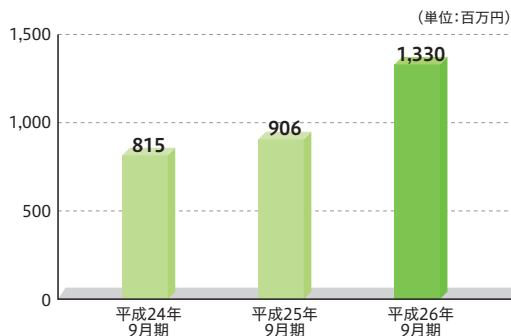
■ 経 常 利 益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中 間 純 利 益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

コア業務純益の状況

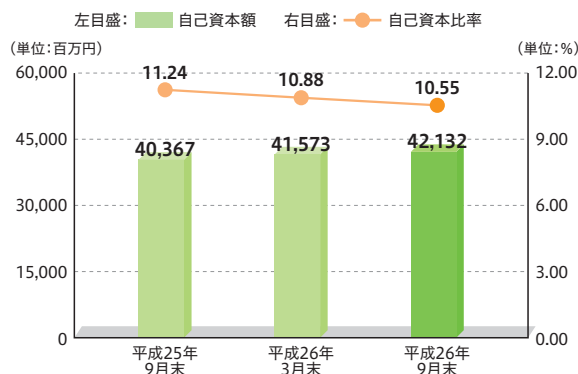
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、経費削減により物件費が減少したことなどから、前年同期比4億24百万円増加の13億30百万円（増減率46.8%）となりました。



自己資本比率の状況

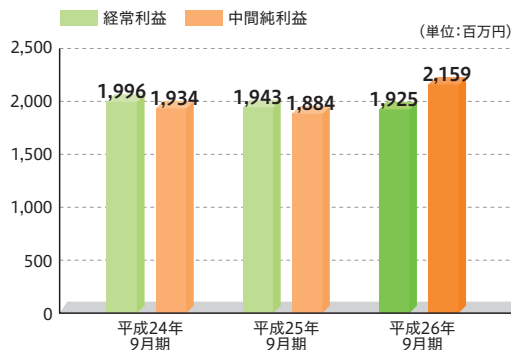
単体自己資本比率は、10.55%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制（パーゼルⅢ）が国内基準に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



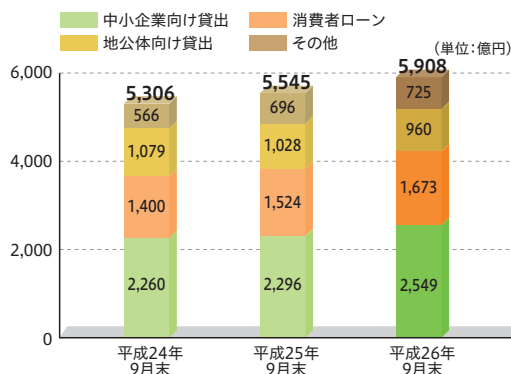
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比17百万円減少の19億25百万円、中間純利益は、前年同期比2億74百万円増加の21億59百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン貸出が増加したことなどから、平成25年9月末比362億94百万円増加の5,908億73百万円となりました。

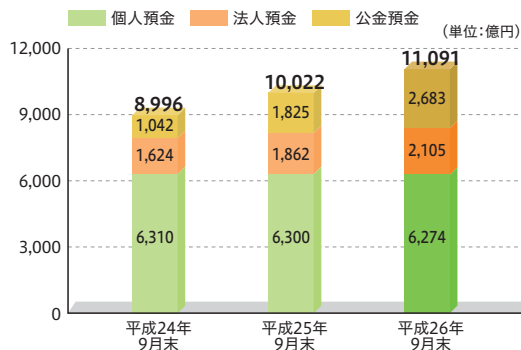


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

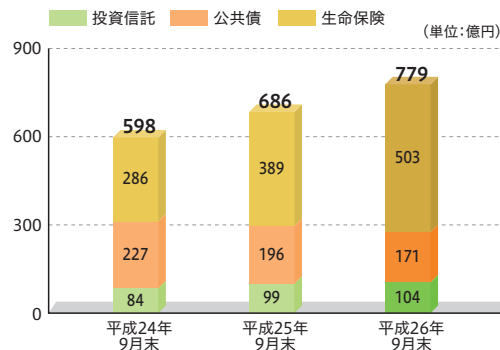
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が減少したものの、法人預金や公金預金が増加したことなどから、平成25年9月末比1,069億5百万円増加の1兆1,091億28百万円となりました。



預かり資産の状況

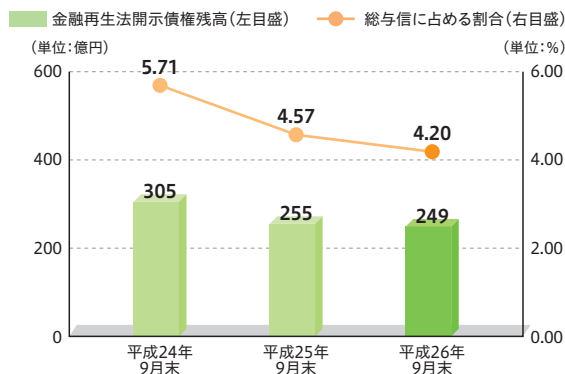
預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成25年9月末比93億41百万円増加の779億93百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成25年9月末比5億47百万円減少の249億74百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成25年9月末比0.37ポイント低下の4.20%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経 常 利 益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中 間 純 利 益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 http://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ・ みずほ銀行 本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります）
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 **0120-288-324**

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成27年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011（代表）
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001（代表）
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241（代表）
<http://www.sendaibank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

平成26年11月発行